

# 28堀小〔環境・理科〕TT 経営プラン

## ◆ TT 目標

- ◎ 自然に親しみ、見通しをもって観察・実験等を行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養うことに目標をおく。
- ◎ 都、及び区の環境教育計画に則しながら本校の環境教育の改善を行い、児童の発達段階に応じた環境教育の充実を図る。

## ◆ 専科経営（学校経営計画を受けてTTとして重点にしていくこと）

- 【方針】
1. 問題解決の過程を大切にした学習活動、指導方法を一層充実させ、児童が自ら課題に向かって主体的に取り組む態度の育成を図る。
  2. 教科「理科」TTとして、各学級担任と連携をとりながら、年間学習指導計画に基づき、理科の学力向上と児童理解に努める。
  3. 環境教育計画に沿って、エコスクール推進校として、環境教育を充実させる。

【重点的な取り組み】

1. 「豊かな探究と確かな習得」を目指した理科授業を計画、実践する。
2. 学習の基本を重視し、言語活動、ノート等の指導に重点をおく。
3. 屋上、校庭緑化を初めとする本校の特色ある学校施設を活用した環境教育を推進する。
4. 「もっと知りたくなる」指導計画や指導方法を工夫する。

## ◆ 専科経営（特に大事にすること、配慮すること）

1 豊かな探究と確かな習得を目指す・・・理科学習では、探究のねらいとして「自ら学び自ら考える力の育成」が挙げられる。すなわち、日常の自然現象における気付きから、児童自ら問題をもち、既習経験等をもとに「予想」を立て、正しい方法で実験・観察を行い、結果から考察する過程を通して、問題を解決していくことのできるよう、見通しをもって解決しようとする意欲と解決する能力を定着させることである。  
⇒そのために、観察・実験や思考活動の場面においては、可能な限り一人一人が実験に参加し、探究できる学習環境づくりに努める。

2 ノート指導に重点をおく。・・・問題解決の流れ、思考の流れが、児童自ら把握できるよう工夫する。  
⇒そのため、ノート指導により、見やすいノート、問題解決に見通しのもてるノート、ポートフォリオ的なノート等の指導を一層充実させていく。本校のオリジナルA4版ノートを活用する。

3 言語活動、話し合い活動を充実させる。・・・言語活動を充実は、新教育課程での重要課題であるとともに、本校の研究でも重視されている。理科においても言語活動は重要であり充実させることが必要である。  
⇒そのために、理科授業の中で、これまで以上に発言発表方法の基本指導に重点をおき、相手の意見をしっかりと聞き、考えたことを相手に正しく伝え、また相手の考えを理解できるよう指導していく。話し合いや図表等での表現活動に力を入れる。

4 環境教育は、学校教育活動のあらゆる場面で実践されるものである。今年度も校内の環境施設を充実させていく。また、ウサギ等の動物と触れ合う環境づくりも整えていく。